



19 待機児童対策や子ども・子育て支援新制度の推進のための十分な財政措置

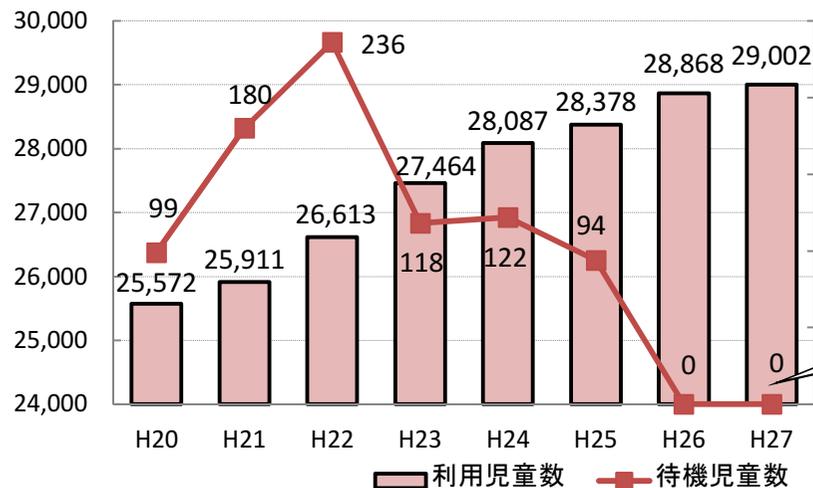
(内閣府, 文部科学省, 厚生労働省)

幼児教育・保育の量の拡大・質の向上及び地域子ども・子育て支援事業の充実のため、次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 保育所等待機児童解消や保育環境改善のための保育所等整備に対する十分な財政措置
- (2) 児童年齢に応じた保育所等の職員配置基準の設定, 職員処遇の改善等, 安心安全な質の高い保育を行うために京都市独自に改善している現状を踏まえた十分な財政措置
- (3) 保護者の就労状況等も踏まえた多様な保育ニーズに応えるための幼稚園における預かり保育等の更なる充実に対する財政措置
- (4) 地域の子育て支援拠点である児童館及び放課後児童クラブの充実のための十分な財政措置

京都市における保育所等利用児童数と待機児童数



○ 保育所の新設・増改築などにより、利用児童数を拡大

＜平成20年度以降の取組＞

- ・ 保育所整備 新設18箇所、増改築35箇所、分園14箇所
- ・ 小規模保育事業等設置 36箇所

○ 就学前児童に占める保育所等利用児童数の割合は全国トップクラスの44.1%（保育所入所率 指定都市平均31.6%）

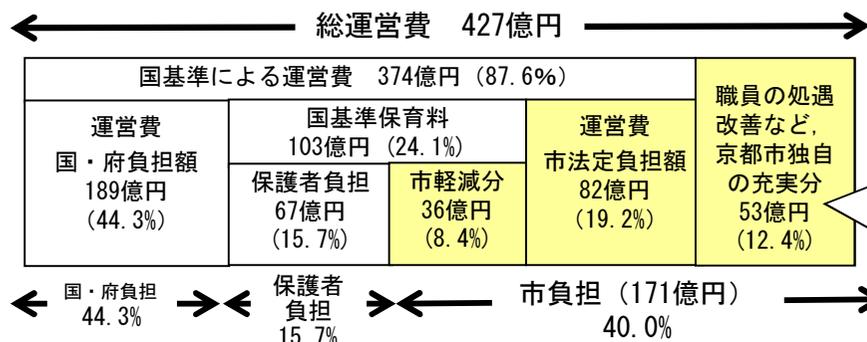
※ 京都市は平成27年4月、全国は平成26年4月時点

○ 平成26年度末から平成29年度末までに、4,679人分の保育ニーズが増加する見込み

2年連続待機児童ゼロを達成！
今後もゼロ継続を目指す

今後も増大する保育需要に対応するため、
保育所等整備に対する十分な財源確保が必要！

保育所・小規模保育事業等の運営に係る独自の充実策



国基準を上回る保育士配置基準や職員処遇の改善により保育環境の充実が実現！

(保育所における配置基準)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
国	3:1	6:1	20:1※	30:1		
市	3:1	5:1	6:1	15:1	20:1	25:1

※3歳児配置改善加算あり(15:1)

質の高い保育を提供するため、
児童年齢に応じた適切な保育所
職員配置基準の設定が必要！

幼稚園、児童館・学童クラブに係る独自の充実策

○ 幼稚園について、長期休業期間を含む預かり保育の実施等のため、**約4億円を市の独自予算で措置**

○ 児童館・学童クラブについて、依然として国が想定する運営費と実態がかい離しているため、児童館事業だけでも、**約5億円を市の独自予算で措置**

幼稚園における**預かり保育等の実施箇所の拡充**や地域の子育て支援拠点である**児童館・学童クラブ事業の充実のため、十分な財政措置が必要！**